

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

優れた人と技術を「仕組み」で融合し、人間と技術を結び付け、技術をより身近で使いやすくする

売上高
4,000億円

営業利益率
3.9%

グローバル拠点数
184拠点

② 中長期の経営戦略

1. テクノロジーソリューション進化

クラウドテクノロジーとデータ活用のCXプラットフォーム・デジタルBPOで顧客体験と生産性を最大化

3. 事業モデルの変革

プラットフォーム化（as-a-service化）とサービス標準化による品質・利益の構造改革

2. グローバル展開強化

アジア圧倒的No.1、グローバルCX/BPOベンダーTOP5を目指す。グローバル184拠点の有機的連携推進

4. 人材育成と体制強化

グローバルの市場成長に応える体制強化と人材育成、グローバルネットワーク活用による新規事業開発

③ 対処すべき課題

① 中期目標の見直し

- ・ 中国経済停滞と企業投資の慎重姿勢で目標達成困難
- ・ 人件費・テクノロジーコスト高騰で価格改定進行中

② デジタル変革への対応

- ・ 最新クラウドテクノロジーとデータ活用の推進
- ・ CXプラットフォーム・デジタルBPOのフル活用

③ ステークホルダー満足度向上

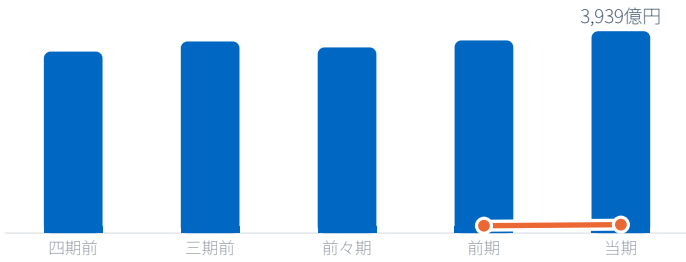
- ・ サステナビリティに基づく社会課題・環境問題解決
- ・ 多様な事業ポートフォリオで社会貢献パートナーを実現

面接で使えるポイント

- ・ 1966年創業の情報処理アウトソーサー先駆者として、優れた人と技術の融合で高品質サービス提供中
- ・ グローバル184拠点でアジア圧倒的No.1、グローバルTOP5を目指すスケール感を持つ企業
- ・ クラウドテクノロジー・データ活用・デジタルBPOでカスタマーサクセス加速するデジタル変革推進

証券コード 9715

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,939億円営業利益率
4.2%財務健康度
54点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
499万円

サービス業内 402位/524社

平均年齢
37.0歳

サービス業内 325位/527社

平均勤続
9.0年

サービス業内 175位/527社

女性管理職
27.2%

サービス業内 107位/371社

男性育休
99.0%

サービス業内 107位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: 全学年> 【9/3】 「多様な働き方を知る（トランスコスモス）」

